《担当者名》 志水 幸 長谷川 聡 佐藤 園美 大友 芳恵 向谷地 生良 松本 望

【概要】

この講義では、「社会福祉領域における研究とは何か」について理解を深めると同時に自立的な研究方法の修得をめざす。

【学習目標】

具体的な学習目標は、以下のとおりである。

科学性を担保する基準について理解する。

必要な情報の収集・整理および分類方法について理解・修得する。

仮説や問いの立て方および論証の仕方について理解・修得する。

論理の展開や資料・事例の取り扱い方、文章表現や論文の体裁について理解・修得する。

研究上の倫理的諸課題について理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 論文作成の方法	授業計画の概要説明。 論文作成の方法について、本学の卒業論文に係る諸規定をもとに解説する	志水
2	研究情報論	文献・資料検索の方法 1)科学論文の基本構造と主要要素と用語 2)文献データベース用Webインターフェースの見方と使い方 3)統制語とシソーラスの使い方	長谷川
3	研究方法論	文献研究の方法	志水
4	研究方法論	量的研究の種類、方法、留意点	松本
5	研究方法論	質的研究法	佐藤
6	研究方法論	事例研究法	大友
7	研究方法論	当事者研究法	向谷地
8	研究倫理 講義のまとめ	研究倫理指針について概説する。 講義のまとめ。	志水

【評価方法】

各教員が課すレポートの総合点により100%評価する。

【備考】

教科書：特に指定しない。講義の際に、必要な資料を適宜配布する。

参考書：岩田正美・小林良二・中谷陽明・稲葉英明著：社会福祉研究法 - 現実世界に迫る14レッスン（有斐閣アルマ Advanced）. 有斐閣, 2006年
岩崎晋也 他編：社会福祉研究のフロンティア. 有斐閣, 2014年.
日本ソーシャルワーク学会監修：ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック 実践と研究をむすびつけるプロセスと方法. 中央法規, 2019年

【学習の準備】

この授業では、これまでの学習成果を統合し、そこから生じた問題意識を明確化した上で参加することが求められます。自らの問題意識に沿った学習を深め、臨床福祉専門演習 と関連づけながら具体的な研究方法を選択してください。

講義で提示する課題に関して、事前・事後学習（45分～90分程度）に取り組むこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3